

2019年9月2日
発行/日本共産党市議団地域版
自宅/市川市須和田2-12-3
fax 047-705-6018
携帯 090-6310-3294
メールアドレス
shimizu@jcp-ichikawa.com
Twitter:清水みな子を検索

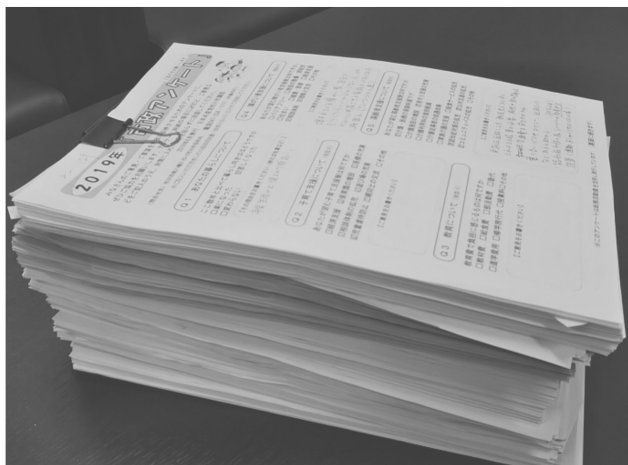


日本共産党市川市議会議員

清水みな子

あおぞらメール No.121

市政アンケートの回答1千通 皆さんの要望を議会で取り上げます



今年も6月から市政アンケートに取り組みました。1千通を超える回答を寄せていただきました。寄せられたご意見、ご要望は議会で取り上げ、来年度の予算要望に生かしていきます。また、地域では、現地調査も行い市に要望します。一部を紹介いたします。

〈道路行政〉

- ・高齢者の自動車事故が多発しているが、公共施設や病院へ行くのに手放せない。小回りのきくコミバスを実現してほしい。
- ・道の駅から外環・国道に出る道に、歩道も自転車道もなく、とても怖い。
- ・外環・国道・防音壁のところは雑草だらけ。排ガスに強い木を植えて美しい道路にしてほしい。
- ・音の出る信号機を設置してほしい。
- ・中国分は新興住宅が増えたのでバスを増便してほしい。最終便も遅くしてほしい。
- ・昂高校へ行く手前の橋にガードレールをつけてほしい。

〈福祉・教育〉

- ・後期高齢者にマッサーシ券や針きゅう券を多く出してください。
- ・収入があると券をくれない。
- ・介護認定まで時間がかかり、仕事をしながら待つ家族は大変です。
- ・買い物や散歩の途中に休めるベンチを設置してほしい。
- ・放課後の遊び場の確保。

部活の時間が長すぎる。
・学校給食のお米は安全だと用紙が各家庭に配布された。点検内容や検査方法も記載してほしい。
・子どもたちの遊び場がないので、小中学校の校庭を開放してほしい。

〈公園〉

- ・どうめき谷津の公園整備について。草刈りをして更地になると、風の強い日は砂埃で近隣住民は布団も洗濯物も干せない状況。芝生を植えるなり対策を講じてほしい。
- ・小塚山公園の脇の道が狭い。
- ・小塚山公園の里山整備隊によって、木々の伐採が行われ、5年前に比べると野鳥の種類が減っている。

〈防災〉

- ・避難所に行くまで危険な場所がある。どのように移動してよいのか悩みます。

・国分川のなかにある木が大きくなり、大雨のとき「ミガひっかかり、水害の恐れがあります。」
・地域での防災訓練の充実を求めます。
・地震のときの火災が怖い。地域に初期に消化できるシステムがあるとうれしいと思う。



〈その他〉

- ・サラリーマンでも傍聴できるように、夜間議会を開いてほしい。
- ・菅野地区の燃えるごみの回収日を平日にしてほしい。
- ・江戸川の土手の除草作業の回数を増やしてほしい。
- ・国分地区に交番の設置。
- ・下水道の普及率を100%にしてほしい。

北総線 北国分駅～矢切駅間 10月～コミバスが走ります

4年前から「北国分地域にコミバスを走らせよう」と、地域の皆さんが運動を続け、10月1日から「実証実験運行」が始まります。皆さん、ぜひ活用してください。

- 運行日 平日のみ（土日祝運休）
- 便数 9時20分北国分駅始発から16時00分北国分駅終着までの1日10便（5往復）
- バス停 10箇所 北国分駅 ⇒ 堀之内3丁目（ベルクス） ⇒ 北国分3丁目東 ⇒ 北国分公園 ⇒ 北国分2丁目公園 ⇒ いなりざく公園 ⇒ 博物館裏 ⇒ 北国分1丁目 ⇒ 下矢切栄町 ⇒ 矢切駅
- 運賃 大人・小児 200円（現金払）
幼児は2人まで無料、乳児は無料
- 車両 12名乗車定員 ワゴンタイプ



自治体学校in静岡 自治体戦略構想を学ぶ



歓迎の太鼓でお出迎え

7月27日～29日まで、静岡市で第61回自治体学校が開かれました。記念講演は、自治体問題研究

所理事長の岡田知弘氏（京都橋大学教授）が「憲法と自治のチカラが地域の未来を切り開く」と題して、総務省がすすめる「自治体戦略2040構想」の概要などにふれ、すでに始まっている先取りをしている自治体があることも話されました。市川市で行われている「いちかわ未来創造会議」の設置は、2040構想の先取りともとれます。また、2018年度には、実証参加自治体に市川市が入っていることがわかりました。今後の動向を検証していきたいと思えます。

2日目の分科会は、「2040構想と公務労働」に参加しました。明治大学名誉教授の黒田兼一氏が基調報告。安倍政権の働き方改革と2040構想。AIは労働を奪うのか、各自治体からの報告もありました。

3日目は、静岡浜岡原発の近隣にある牧ノ原市の初代市長・西原茂樹氏が「対話による協同のまちづくり」と題して講演。市川市のタウンミーティングのような「市役所お

でかけトーク」を行い、また、東日本大震災のあとは「原発」をテーマに話し合いを繰り返し行ってきたということでした。また、毎年市民意識調査を実施し、その調査に基づいた取り組みもすすめています。市民と対話による協同のまちづくりを基本にした総合計画も策定。西原氏は「重要なことは市民と一緒に決めること」「対話が未来を切り開く」と結びました。

無料法律相談

◎10月8日（火）
担当 高橋 勲弁護士

◎11月12日（火）
担当 田村陽平弁護士
午後2時から5時まで
相談時間はひとり30分。
予約は清水又は控え室。

こんな話も。「税の窓口」に市民が文句を言いに来たら、市長室に通してくれ。職員は忙しいから市長が話を聞く。3時間も話をきけば、市民も納得して帰っていきますよ」と印象的でした。

加しました。憲法や教育基本法の前文なども引用し、年代ごとの教育のあり方や、道徳教育の変遷なども話されました。最終的には、安倍政権の早期退陣を求めている。このまま政権が続けば、戦前に逆戻りをしてしまう、その危険が十分にあること、早期退陣を求めて頑張りましょうと、しめくりました。



☆8月31日 9月議会に向けて市政懇談会

9月議会に向けた市政懇談会を開きました。市長公用車をめぐり今議会で給与減額の条例案が出ています。36人が参加し、テスラ社公用車導入に対して、「導入反対」の声が相次ぎました。条例案に対する市議団の態度についても質問がありました。

《主な活動報告 8月》

☆8月25日 千葉県合唱創作交流会に参加

年に1回、日本うたごえ祭典の参加団体を決める「千葉県合唱創作交流会」が鎌ヶ谷市で開かれ、「市川新婦



人コーラス」として参加。25団体が参加し、日頃の練習の成果を発表しました。私たちは2曲「津軽のふるさと」「どじょっこふなっこ」を披露しました。

☆8月28日 前川喜平さんを迎えて「教育の集い」を開く

行徳で、元文部科学事務次官の前川喜平さんを講師にお呼びして「教育の集い」が開かれました。時の人である前川さんの話はどんな話が聞けるだろうかと参